

第1期 建設ディレクター育成講座がスタート!

1月10日(火)に京都サンダー本社セミナールームを会場に、「建設ディレクター育成講座」が開講いたしました!総勢16名の受講生の方々が、第1期生として3月28日まで毎週火曜12回の講座に取り組んでまいります。建設ディレクターとは、豊富な知識とスキルでオフィスと現場を繋ぐための新たな職域の総称です。

国土交通省石井大臣 新年インタビュー (要旨)

「2017年を生産性革命 “前進” の年に」

・適正な賃金水準・休日確保・教育訓練の充実を目指す

国土交通省では、昨年を「生産性革命元年」として、人口減少下での経済成長を生産性向上を推進した。さらに2017年は、生産性向上の考え方を施策全般に組み込み、生産性革命を前進させる年と位置付ける。安定的、持続的な公共投資の確保を目指し、2017年も引き続き建設業界と連携し、適正な賃金水準の確保、休日の確保、教育訓練の充実に取り組む。

・2017年は社会保険未加入対策の集大成の年

今年は、5年前から業界とともに進めている社会保険未加入対策の集大成の年。業界全体に社会保険加入が定着するように全力で臨む。

・10年後を見据えて諸課題に真正面から取り組む

建設産業が10年後も生産性を高めながら現場力を維持できるよう、将来の担い手確保・育成や生産性向上などの課題に真正面から向きあっていく。

許可業者の92.7%が社会保険加入

国交省は平成28年12月、最新の社会保険未加入業者に対する状況をまとめた。

24年11月から28年9月末までに受け付けた建設業許可新規・更新申請、経審受審申請件数の延べ48万9886件のうち、92.7%の延べ45万4005件の加入を確認した。

加入指導の状況によると、許可新規・更新や経審受審の申請があった件数のうち、申請時にすでに加入していたのは43万2675件(88.3%)。未加だった5万7211件のうち、指導を受けて加入したのは2万1330件だった。

また、元請が社会保険未加入の1次下請けと契約をすることを禁じる「一次下請の排除」も進んでいる。

建設現場の死亡災害 10.6%減少

厚生労働省は、2016年(1~12月)の労働災害発生状況(速報)をまとめた。建設業の死亡災害は前年同期比10.6%(33人)減の277人。休業4日以上(4日以上)の死傷災害は3.4%(484人)減の1万3775人となった。

死亡災害の発生が多かった事故の型の上位は「墜落・転落」128人、「交通事故(道路)」37人、「崩壊・倒壊」24人、「激突され」22人、「はさまれ・巻き込まれ」16人となっている。

建設ディレクター育成講座レポート

1月10日(火)の第一回目から、1月31日(火)の第四回目まで開催しました「建設ディレクター育成講座」の様子をご紹介します。

建設フロントマネージャーコース

■1月10日 第一回

午前の部 田辺 直子(京都サンダー株式会社)

午後の部 高田 守康 氏

(日本マルチメディア・エキップメント株式会社 代表取締役)

第1回目は、建設業の50年の経済的背景を解説。さらに企業や地域を取り巻く現状認識、予測や目標設定の仕方等、業務遂行の重要性について学習しました。

また、職業人として建設業で働くための考え方や、基礎知識を再確認しながら、学ぶための構え方を考える時間となりました。



■1月17日 第二回 (午前・午後)

栗栖 佳子 氏(株式会社 宙(SORA) 代表取締役・ビジネスコーチ)

「コミュニケーションで人や組織が変わり、人生が変わる」ことをテーマに“ティーチング”と“コーチング”についての解説。

価値観・基準の違いによるコミュニケーションの食い違い、怒りのコントロール“アンガーマネジメント”について学習しました。さらに、コミュニケーションスキルに関する知識を深め、自分や組織の未来をビジョン化。建設業で必要なコミュニケーションとは何かを理解する、有意義な時間となりました。



■1月24日 第三回

午前の部 山本 剛 氏(関西大学 講師)

午後の部 中野 普蔵 氏(元近畿地方整備局 建設産業調整官)

午前の部では、建設業に求められる課題と役割について、日本という災害の起きやすい地形・地質構造や、地域性をもとに考察。建設業がこれから何に、どう備えていくべきかを学習しました。さらに、建設技能者・技術者としての学習の仕方や仕事と幸せの関係についても解説。

午後の部では、建設業における用語の定義や建設業法、各種制度についての解説。さらに、経営事項審査の概要及び審査の手順について学習、豊富な事例を交えた講義となりました。建設業の歴史や背景を学ぶことで、建設産業の現状と課題について理解を深めることを目指しました。

1/31(火) 建設ディレクター育成講座 第四回「施工管理の基本について」

1月31日(火)京都サンダー本社セミナールームにて、第4回目となる「建設ディレクター育成講座」を実施いたしました。講師はハタコンサルタント株式会社代表取締役の降旗達生氏。



施工管理の基本ということで、成果を上げるために必要な能力・やる気・考え方について解説。能力は技術だけではなく対応力・管理能力・経験・知識などが重要になることを学びました。4名ずつのグループに分かれ、それぞれ具体的な目標を設定することで、結束力が強まり、仲間同士、補いあいながら学習。



午後には工程管理の基本をもとに、最後には原価管理について実行予算の作成演習を行いました。実際の現場を想定した質問に対し、チーム力で解決。実践的で実りある講義となりました。

WEB(オンライン)講座

建設業 生産性向上教室

～日本の現場を元気に！利益は現場から！～

どなたでも無料で、パソコンのほかスマホでも受講できます

■開講日：2016年12月13日(火)

■講座時間：約10分×12章 ■標準学習期間：6週間

※配信開始から2月末の閉講まで受講が可能です。



講師は建設技術者研修5万人、現場指導2000件！
降旗達生氏 (ハタコンサルタント代表取締役)



大阪大学工学部土木工学科を卒業後、熊谷組に入社。ダム工事、トンネル工事、橋梁工事など大型工事に参画。阪神淡路大震災にて故郷兵庫県神戸市の惨状を目の当たりにして開眼。建設コンサルタント業を始める。国土交通省「地域建設産業生産性向上ベストプラクティス等研究会」他多数の委員を歴任。

<京都サンダー取扱い商材のご紹介>

3次元モデルを利用したCIMコミュニケーションシステム TREND-CORE

福井コンピューター(株) NETIS登録製品!

設計図面や3次元計測データを元に施工現場を3Dモデルで表現し、解り易い施工計画やシミュレーションを行うことができます。施工手順の説明や安全教育、地域住民に対する現場説明資料、施工時の情報共有などで活用できます。



◇NETISとは
新技術情報提供システムのことで、公共工事等で活用する新技術をまとめたデータベースです。

<http://const.fukuicompu.co.jp/feature/netis.html#core>

<レポート>

“i-Construction推進コンソーシアム”が設立

1月30日、“i-Construction推進コンソーシアム”設立総会が開催されました。様々な分野の産学官が連携して、IoT・人工知能(AI)などの革新的な技術の現場導入や、3次元データの活用などを進めることで、さらに生産性が高く魅力的な新しい建設現場を創出することを目的に設立されました。京都サンダーもメンバーに加わり、“i-Construction”の普及を目指します。



京都サンダーセミナールームご利用のご案内

建設業の人づくりや建設業に関わる人と人を繋ぐ場として、各種セミナーや勉強会、交流の場として京都サンダー本社2階にセミナールームを開設いたしました。20名様収容でホワイトボードやスライド、音響設備を設置しています。セミナールームご利用ご希望の方は、京都サンダーまで!

